

京都府民総合体育大会小学生女子採点規則及び総体規則について 学年別+クラス（強化・普及）別大会

<全体について>

- ・ Eスコア及びその他については2022年版(変更Ⅱ)に準ずる
- ・ 変更Ⅱで認められている要素(平均台・床)は、構成要求として認められる
- ・ 4要素以下の場合、Eスコアの最高点は右の表の通り

4要素	6.00
3要素	5.00
2要素	4.00
1要素	3.00

<跳馬> 強化クラス：跳馬110cm 普及クラス：跳馬105cm 3助走2跳躍

・採点の観点

- (1) 各跳躍に対して距離・高さ・回転が正確に実施されているものに対して評価をする。
- (2) 不完全な実施に対しては、減点をする。
- (3) 美しい姿勢での実施を評価する。

採点規則集にない跳躍	Dスコア	Eスコア
台上前転	1.00	5.00からの減点
跳び乗り～跳び下り	0.50	

<段違い平行棒> 高棒255cm 低棒175cm（低棒のみの実施であっても採点には影響しない）

・採点の観点

- (1) 肘の曲がりや膝・つま先のゆるみがない、美しく伸びた姿勢の正確な技術での実施を評価する。
- (2) 演技の中断に対しては、厳しく減点をする。

・Dスコアについて

- (1) 同一技は、2回まで承認する
- (2) 逆上がりとフット下り（終末技加対象外）を含むすべての要素を、A難度として承認する
- (3) 構成要求CR 各0.5
  - ①低棒または、高棒で少なくとも1つ以上の技を実施
  - ②前方系の回転技
  - ③後方系の回転系の技
  - ④け上がり(0.5)逆上がり(0.3)

<平均台> 高さ125cm（台下に20cmマットを使用）、20cm・10cm着地マットを使用可

・採点の観点

- (1) 調整や停止がなくリズムとテンポに変化のある流れるような演技、芸術性のある演技を評価する。
- (2) 美しい姿勢での、正確な技の実施を評価する。

・Dスコアについて

- (1) 難度表にないロンダート下りをA難度として承認する（終末技加対象外）
- (2) 構成要求CR 各0.5
  - ①難度表にあるリープ・ジャンプ・ホップの要素を1つ
  - ②ターン(グループ3)または接転系の技/旋回
  - ③前方または側方のアクロバット系要素（前転可）
  - ④後方のアクロバット系要素

<ゆか>

・採点の観点

- (1) リズムとテンポに変化のある流れるような躍動感のある演技、芸術性のある演技を評価する。
- (2) 美しい姿勢での、正確な技の実施を評価する。

・Dスコアについて

- (1) 同一技は、2回まで承認する
- (2) 構成要求CR 各0.5
  - ①180度の前後/左右開脚または開脚屈伸姿勢の跳躍技を1つは含む少なくとも2つの異なるダンス系での移動
  - ②片足上のターン(360度以上)
  - ③前方のアクロバット系要素
  - ④1つの後方系の技を伴う少なくとも2つの技からなるアクロバット系シリーズ(側転～後方倒立回転可)